

橋三とか橋五とか、誰なの？

でも、なぜ公長さんが守護代になったか、わからないわ。



私の長男は公忠、次男が公業

なんじゃが、3男からは諸説

あってのう。渋江系図では、公業・公清・公経・公仲とされとるんじゃが、

藤田博士^{注①}の研究では公忠・公業・惟広（又は公経）・公高・公仲（奈良五郎）・公久とされてる^{注②}。よく判らんワイ



それが書いてあるのが山口県の『武久家文書』。これは、山口県の文化財に指定^{注④}されているよ。

注④『武久家文書』（山口県の文化財指定古文書）この中の系図に、初代が橋公長であると書かれている

「左大臣徳大寺実能の庶子公保の子公佑が初代 **公佑は公長ともいい**後に姓を改め永富時永と称す。彼は長門介に任じられ建久5年(1194)に亡くなる。その子は永富公業又は佑時といい、薩摩守に任じられ、長門守護を務めた」とある。

(ゆかり76号 花田晴年氏の「吾妻鑑に見る橋氏の事績」より)

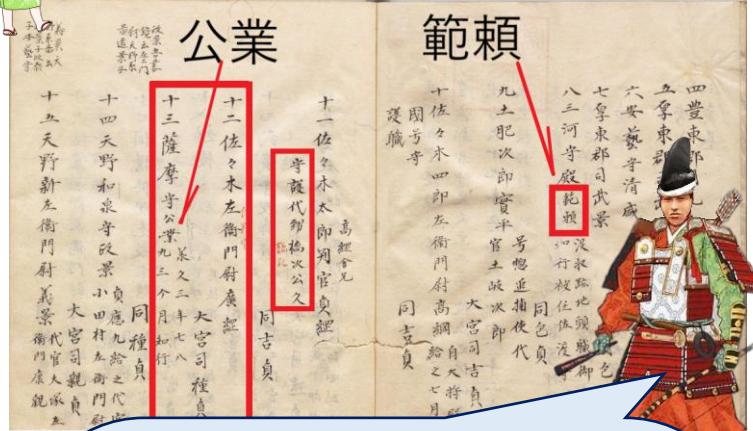
ザックリ言えば、公長さんにはたくさんのお子さんがいたということね。
ところで、長門国ってどこ？



場所は、黄色の所。流れは下の囲み。



ネットで見れないかしら？



長門の守護代になるまでの流れを簡単に教えて下さい。



源平争乱	頼朝が東国役職を勝手に授与
義仲の京侵攻	平家都落ち
後白河上皇復権	平家の土地を朝廷没収 ^{注③}
義仲＆平家没	上皇が平家土地を恩賞に
義経が平泉へ	朝廷が守護地頭を認める
御家人を守護へ	佐々木高綱が長門の守護



注③ 平家の土地した所を「平家没官領」といいます。



高綱よ。よう早く
していく！
そいせん、長門
ばやーたい。



●8番目から次のように書かれておる
8三河守殿範頼（没水跡地頭職御知行被任佐渡守
9土肥次郎実平（号惣追捕使代官土岐次郎）

10佐々木四郎左衛門尉高綱 国号守護職
(大将殿より文治2年給之7月12日下)

11佐々木太郎判官貞綱（高綱舍兄）

(守護代橋次公久)

12佐々木広綱（守護代は空欄）

13薩摩守公業（承久3年7・8・9 3か月知行）

●赤枠^{わく}の所が橋氏じゃ。

●花田氏は、「橋氏と頼朝側近の佐々木氏とはつながりが深く、屋島合戦を率いた範頼^{そつきん}やしまかっせん^{ひき}のりより

の跡を、佐々木&その縁で橋氏が守護になつたのではないかとされておる。

※今月号の出典は吾妻鑑（鎌倉時代の歴史書）と湯か里75号・76号花田晴年氏の原稿を参考にしました。

今回ご紹介した時代は『平安末～鎌倉時代』でした（1185年以降が鎌倉時代）